



目覚ましい成果を出しながら
全体最適の問題解決を
実践する人財を自社に育てる!

ゴールドラットスクール国際資格認定プログラム
Goldratt Master Executive Certificate for TOC Thinking Process

ゴールドラットTOC思考プロセス



プログラム概要

第1回▶2日間

問題の全体像を把握する：「あなたの（組織の）可能性を阻む既成概念は何か？」

- 科学者のように論理的に考えるシンプルなプロセスを学ぶ
- あなたの（組織の）可能性を台無しにする4つの障害と明晰に考えるために欠かせない4つの信念
- 望ましくない現象の数々を一網打尽にして、問題を解決するためのコアの問題の構造を明らかにする
- 学んだことを自分のものにして、成果を出す実践課題（宿題）
- どのジレンマを解消すれば、ブレークスルーにつながるのかを考える

第2回▶2日間

解決策を見つける：「既成概念を覆す目覚ましい成果をもたらす解決策は何か？」

- ジレンマを引き起こしている誤った思い込みを見つける
- 対立を解消する解決策を見つける直感を鍛えるための方法
- 対立を解消する解決策を見つけるシンプルな直感的方法
- 解決策が副作用を起こさないようにあらかじめ磨き上げる
- 学んだことを自分のものにして、成果を出す実践課題（宿題）

第3回▶3日間 ※1日目と2日目は個別セッション

解決策を磨き上げる：「考え抜いた解決策をより強固なものにするには？」

- 個別セッションにて、ここまでの実践をフォローします
- 解決策が副作用を起こさないようにあらかじめ磨き上げる
 - 大きな解決策をより細分化し、必要なことを洗い出す
 - 学んだことを自分のものにして、成果を出す実践課題（宿題）

第4回▶2日間

ビジョンを実現するための戦略と戦術：「いかにしてビジョンを実現する道在设计するか？」

- 解決策の成功確率を高める条件とは？
- ビジョンを実現するための「戦略と戦術のツリー」の構造
- 継続的に組織を成長させる3つの手順「構築する」「収益に変える」「持続する」
- あなたの（会社の）ビジョンを実現する戦略と戦術のツリーを創る
- あなたの（会社の）ビジョンを考える
- 戦略と戦術がうまくいく理由を明らかにする
- 学んだことを自分のものにして、成果を出す実践課題（宿題）

第5回▶3日間 ※1日目と2日目は個別セッション

実践に欠かせない周囲の協力：「いかにして周囲の協力を得るか？」

- 個別セッションにて、ここまでの実践をフォローします
- 相手の立場になって考える
 - 相手が断れないロジックに従い、提案のプレゼンをつくる
 - 実践をスムーズに集中して進めるために、流れを妨げる障害をあらかじめ解消する
 - 学んだことを自分のものにして、成果を出す実践課題（宿題）

第6回▶2日間

目覚ましい成果のためのブレークスルー思考：「いかにして思ったようにいかないことから学び続けるか？」

- いままでの学びと実践の成果報告とまとめ
- 卒業式（基準に達した方々には、ゴールドラットスクール国際資格 Master Executive of TOC Thinking Process を授与します）
- 思ったようにいかないことから学び、ブレークスルーの発想を導き出すミステリー分析

【2020年春開講のスケジュール】

- 第1回 2020/07/18 (土) ~ 2020/07/19 (日)
- 第2回 2020/08/22 (土) ~ 2020/08/23 (日)
- 第3回 2020/09/25 (金) ~ 2020/09/27 (日)
- 第4回 2020/10/24 (土) ~ 2020/10/25 (日)
- 第5回 2020/11/20 (金) ~ 2020/11/22 (日)
- 第6回 2020/12/19 (土) ~ 2020/12/20 (日)

ゴールドラットTOC思考プロセスについて

全世界で1000万人が読み、各地で幅広い分野で目覚ましい成功事例が続出している『ザ・ゴール』。この本の著者エリヤフ・ゴールドラット博士が、開発した全体最適のマネジメント理論がTOC(Theory Of Constraint)です。TOCの知識体系の中でも、もっとも重要で、もっとも汎用的な知識体系と言われているのが、全体最適の問題解決手法「思考プロセス」(TP: Thinking Process)です。

「世の中に考えることを教える」

これが、ゴールドラット博士が20歳の時に打ち立てた人生の『ザ・ゴール』(目標)です。この志を実現するために1991年『ザ・ゴール2』で「思考プロセス」を発表以来、ゴールドラット博士はこの手法を生進進化させ続けてきました。しかしながら、現在日本に紹介されている「思考プロセス」は、残念ながら25年以上も前に開発されたもので、最新の知識体系は必ずしも反映されたものではありません。博士が自らも、もっとも重要な作品と位置付けていた『ザ・チョイス』の中で、思考プロセスは、飛躍的に進化し、複雑に絡み合った組織の変革のみならず、充実した人生を過ごすための知識体系として集大成させています。ゴールドラット博士も自ら実践し、全世界のゴールドラットグループの中で活用されている最新の思考プロセスの特徴は、以下の通りです。

- 直感的にシンプルに実践できる
- やさしく一つひとつ実践し、成果を出しながら学べる
- 実際の問題に適用し、短期間に目覚ましい成果を出せる
- 知識を学ぶだけでなく、継続的に訓練し、応用問題の解決能力を高める
- 周囲を巻き込み改革を進める戦略と戦術を創る
- 人間的な成長につながる

世界中で目覚ましい成果を出すゴールドラットグループの中で実際に活用されている、博士に直伝された最新の「思考プロセス」のプログラムを今回、公開することにしました。

- 6か月間、世界のトップエキスパートから最新の「思考プロセス」を学ぶ
- 毎回、自社の実際の課題をベースにワークショップ
- 学んだことを持ち帰り、現場で成果を出す
- 自社に適用する際の疑問点などを丁寧に指導
- 会社のビジョンを実現し、継続的成長を支える中期経営計画の戦略と戦術を作成
- 成果報告合格により、Goldratt Master of TOC Thinking Process 国際資格認定

月一回のワークショップで、自社の課題も活用しながら知識を学び、翌月のワークショップまでに学んだことを実践、成果を出しながら、より理解を深めていく実践プログラムとしてデザインされています。理論と実践で、会社の成長を支えるマネジメント人材を育成するのが、このプログラ

ムの特徴です。メイン講師は、ゴールドラット博士と一緒に知識体系を開発してきた、世界のトップ中のトップ、ゴールドラット博士の後継者、ラミ・ゴールドラットCEOが自ら行い、また、日本を代表する企業のエグゼクティブ出身で、様々な分野で目覚ましい成果を出し続けるゴールドラットコンサルティングジャパンのトップエキスパートがサポートします。英語については、TOCを熟知した通訳がつかますので、安心してご参加ください。

検討をお勧めする企業

- 全体最適のマネジメント変革を指導できるリーダーを育てたい企業
- 中期経営計画の立案と実現をしたい企業
- TOCによって、すでに成果を出しているが、今後も成果を出し続けるための基盤

参加対象 ●経営幹部、幹部候補、組織改革のリーダー、リーダー候補

TOCは全体最適のマネジメント理論です。職種は問いません。全体最適で会社を良くしようという志のある方に参加していただきたいと思っております。会社の組織をまたがって複数名で参加するとより効果的です。

募集人数 ●30名

特別な準備は必要ありません。会社をそして、職場をよりよくしたいという志があれば十分です。『ザ・ゴール コミック版』『ザ・ゴール2 コミック版』などを読んでおくと、より理解が深まります。

費用 ●1人75万円(消費税別)

●一社で3名の場合、合計150万円(消費税別)(追加一名につき50万円)

(3名以上出された企業については、経営幹部1名の授業参観は無料となります)

TOCの特徴は、抜群の即効性。ごく短期間に目覚ましい成果を出すことが世界中の現場で実証されています。自己流で様々な試行錯誤を繰り返すよりも、世界のトップエキスパートからしっかりと学んで、自社で応用問題を解き、実践して短期間に成果を出す。数字面での成果はもちろんですが、多くの方々が驚かれるのは「人の成長」。「目覚ましい成果は、もちろんだが、何よりも成果は人が育ったこと。職場に広がる協力の和、従業員のやりがい・はりあい。こんな会社には私はしたかったんだ!」と多くの経営者が口を揃えて語られます。

全体最適のマネジメントを実践し、成果を出しながら、長期的な人材育成につなげたいと考える企業におすすめのプログラムです。3名参加いただいても、月換算25万円、派遣社員を一人雇うのと変わらないコストで、世界のトップエキスパートの直接指導を受けながら、現場で目覚ましい成果を毎月次々と出し、しかも会社の将来を支える「中期経営計画」の戦略と戦術まで作成できる、比類なき投資対効果のある画期的なプログラムとなりました。TOCの普及をミッションとするゴールドラットグループならではの取り組みです。この機会に是非ご検討ください。

なお、一企業につき3名以上出された企業については、経営トップの授業参観は無料となります。これは、経営トップがプログラムの内容を理解することで、現場での実践の支援がしやすくなり、成果がでるスピードが加速するというメリットがあります。